

第6回古沢小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和6年12月17日（火）

開催時間：19時00分～20時00分

開催場所：古沢地区センター

出席者：会長、前田副会長、斉藤副会長、荒木（兼）委員、森委員、
五十里委員、高林（聡）委員、市川委員、高林（正）委員、
荒木（祐）委員、杉田委員、石田委員、今井委員、松井委員

事務局：教育委員会事務局次長 高橋 洋
学校再編推進課長 山崎 悟
学校再編推進課長代理 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介
学校再編推進課計画係主事 大関 光貴

《開会》

【司会】 第6回古沢小学校のあり方協議会を開催する。

会長に議事の進行をお願いする。

（会長 挨拶）

《老田小学校見学会について》

【会長】 それでは、先日実施した老田小学校の見学について、事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 （資料16 老田小学校の見学会について説明）

【会長】 見学会に参加された委員から見学会の感想を伺いたい。

【委員】 現在、古沢小学校で複式学級が編制されるようになってから何年も経ち、それが当たり前の状況になっている。実際、老田小学校の見学会で1学年1クラスで授業をしている様子を見ると、改めて、それが当たり前であったのかなと感じた。少人数の規模のよさもあるかもしれないが、子どもたちの交

流を見ていると、やはり子どもたちは人数の多いところで交流をしたほうがいいと思った。大人数で遊ぶことが子どもたちのコミュニケーション能力や運動能力、将来的な学力に関しても重要で、改めて小学校の統合というのが選択肢になってくるのではないかと感じた。

【委員】

老田小学校の教室の前は、フリースペースになっており、子どもたちが自由に使える。今どきの教室はこういう造りなのかと感心した。ある程度の人数がいて、ちょうどいいバランスが見れた。それがいいんじゃないか、これが普通だなというのが本当は感じるべきことで、いかに今、古沢小学校が閑散とした教室になってしまっているかを感じた。

あと、この老田小学校は、建設した時期が3段階ぐらいあるようで、動線が少し迷う感じがある。古い校舎は古沢小学校と似たような昔ながらの雰囲気だった。子どもたちの教室は、さすが今どきの小学校だなという印象で、ここで今子どもたちが合流して勉強するにはいい環境ではないかと感じた。

【委員】

子どもたちはすごく元気いっぱい、初対面でしたけどよく話をしてくれた。こういう中にうちの子どもたちがいたら、もっといろんなことを学べるんじゃないか、いろいろなものを取り入れられるのではないかと考えた。全体的に明るい校舎だった。理科室等は、廊下側がほとんどガラスになっていて明るい印象だった。そういう面では、そこに通っていてもすごい気持ちがいいだろうと思った。他には駐車場が狭いということと、校舎の中が少し複雑だった。

【委員】

新しい校舎はとてもきれいで開放的な、眺めもよく、廊下と教室の区切りも自由に行き来できるような感じで、素敵なおとこだと思った。授業をしている様子を見ていて、そこに池多と古沢の子が入ると窮屈になるのではと思ったが、人数の基準で1学年で35人を越えると2クラスに分かれるというのも聞き、2クラスに分かれれば、ちょうどよくなると感

じた。

いつも古沢小学校のこの広いグラウンドを見ているからか、比べると老田小学校は少し狭いような印象を受けた。子どもたちの交流している様子を見ていると、生き生きと楽しそうに過ごしていたので、このくらいの人数でも萎縮することなく楽しく過ごせるだろうと感じた。

【委員】 皆さんと同じようなことだが、まず第1印象としては、教室の横がフリースペースになっており、すごく解放感があつていいなと感じた。グラウンドは狭い印象を受けたが、今現在の老田小学校の校長先生が20年ほど前に教師として老田小学校にいたときは、人数が今よりも多かったが、十分に50メートル走も真っすぐ走れる広さがあり、問題なく活動できていたと話しをされていた。ちょうどその日に1年生から3年生までの3校の交流会があつたが、古沢小学校の子どもたちは発表もしていたし、元気だし、やはり子どもってなじむのが早いなと思い、多いにこしたことはないと感じた。

【委員】 私もグラウンドの狭さが気になっていた。教室は広くていいと思った。また、教室に行くのに3階建てということもあり、何回も行かないと迷うなと感じた。

【会長】 皆さんの思いを聞かせてもらい、いろいろな立場から様々な感じ方で見ておられたということが分かった。私も見学に行き、三校の交流会では、大人であれば少し身構えてしまうところ、子どもたちはそういうことをあんまり考えず、みんながなじんでいるという雰囲気だった。

《統合の相手先について》

【会長】 老田小学校の見学や、これまでの議論を踏まえ、本協議会としては、古沢小学校、老田小学校、池多小学校の3校の統合に向けた話合いを進めるということでまとめてはどうかと考えているが、他のご意見がある方はいるか。特に無ければ、

拍手で承認いただきたい。

(拍 手)

【会長】 承認いただいたので、協議会としては、古沢小学校の統合に関する方向性がまとまった。そこで、この内容や議論の経過等について、古沢地区の住民に説明する地区説明会を1月23日に開催したいと思うが、よろしいか。

(異議なし)

【委員】 老田地区・池多地区はどのような状況か。

【会長】 老田・池多も反対の意見は出ていないと聞いている。

【委員】 老田も協議会を設立されているのか。

【学校再編推進課長】 老田地区は1回目の協議会を8月に開催し、2回目は11月25日に開催し、意見交換をしていただいた。三校交流会のことも踏まえ、統合に関しては好意的な意見を聞いている。池多地区については、明日6回目の会合があり、概ね同じ流れで、最終的な協議会としての方向性を決めていただき、地区説明会の段取りについて、話し合う予定になっている。

《地区説明会について》

【会長】 それでは、1月23日開催予定の地区説明会について、事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 (資料17から19地区説明会について説明)

【会長】 過去に開催したほかの地区では何人ほど参加されたか。

【学校再編推進課長】 浜黒崎校区の場合は、2回開催し、いずれも十数人、音川地区では5人程度参加された。

【会長】 当日の役割については、協議会の活動報告を五十里委員にお願いしたい。その他の委員においては、各団体で周知いただき、少しでも多くの方にお集まりいただきたい。地区説明会の終了後の流れはどうなるか。

【司会】 地区説明会では住民の皆様に説明いただき、その反応も踏まえた上で、日を改めて最終回の協議会を開催したいと考えて

おり、そこで、最終的な協議会としての方向性を決していた
だきたい。その後、統合の相手先となる老田・池多を含めた
統合検討協議会を設立し、統合の時期、統合の場所、スクー
ルバスはどうするのかといったことなどを話し合って決めて
いただくこととしている。

【学校再編推進課長】 地区説明会が終わり、最後のあり方協議会で次の統合検討協
議会への委員の推薦をしていただくこととなる。人数は確定
ではないが、ほかの地区の事例では大体五、六名程度となる。
もし役員改正があって決めれないということであれば、この
団体の中からとか、この役の人でその年度で改選された方と
いう決め方もある。

【会長】 あとは、その地区の今後に関する問題が出てくる。そういう
のをまた何かの形で対応していかななくてはならない。あり方
協議会の方向が見えてくれば、今度は施設をどうするかとい
う問題も考えていかなければいけない。

【学校再編推進課長】 ほかの校区でもあり方協議会がなくなると、協議の受け皿が
なくなるので、残したいという話しをいただく。補助金を出
して一定のルールの下で支援するというあり方協議会は、方
向性が決まった時点で解散することとなるが、この枠組みを
そういった地域の問題を話し合っていく団体として残される
という地域もある。

【司会】 地区説明会の司会進行や開会・閉会の挨拶についての役割分
担については、どうされるか。

【会長】 司会進行については、杉田委員にお願いしたい。また、開会
の挨拶については、会長である私からさせていただき、閉会
については、PTA会長である斉藤副会長からお願いします。

《閉会》

【会長】 本日の議題は以上となる。最後になるが、事務局から連絡事
項等あるか。

【司会】 地区説明会については、シナリオを作成させていただくなど準備を進めさせていただく。役割に当たっていない委員においても、1月23日はぜひ出席いただきたい。

地区説明会の後、日を改めて、2月頃に最後の第7回あり方協議会を開催したい。第7回の協議会の日程については、会長と調整の上、ご案内させていただく。

【会長】 それでは、次回の協議会で、本協議会としての方針を最終決定ということにしたい。皆さんのご出席をお願いします。
これで、第6回あり方協議会をこれで終了する。

—— 了 ——